

# 第3回 清和台地区 地域説明会



令和8(2026)年7月4日  
於:清和台小学校  
午前10時～

令和8(2026)年7月4日  
於:清和台南小学校  
午後2時～

令和8(2026)年7月5日  
於:清和台公民館  
午前10時～

# これまでのふり返し 《12月 第2回地域説明会資料より》

12月に実施した第2回地域説明会では、

「清和台小学校と清和台南小学校の児童がひとつの学校でともに学ぶ環境をめざす。」

ことをお伝えしました。



清和台小学校と清和台南小学校の2校がひとつの学校でともに学ぶ環境として、以下の3パターンの教育環境を中心に検討し、それが実現できる場所を選択していきます。

A 小学校のみの基本的な教育環境

B 中学校とのより密接な連携が可能な教育環境

C 中学校及び特別支援学校との多様な学びが可能な教育環境

# 説明会の趣旨

この説明会では、清和台地区の学校のあり方の今後の方向性をご説明いたします。

教育委員会としては、清和台地区の今後の教育環境として、

「清和台小学校と清和台南小学校をひとつの学校にし、清和台中学校及び川西養護学校との多様な学びが可能な教育環境をめざす。」

ことを考えています。

開校場所としては、『清和台中学校と川西養護学校を合わせた敷地を第一候補地』として、今後検討していきます。また、開校時期については、施設整備に6年程度時間を要することを見込んでいます。

一方で、「早く統合してほしい」という保護者の意見に対しても、今後、検討する必要があると考えています。

本日の説明会では、まず、教育委員会から今後の方向性についてご説明します。その後、皆さまからのご意見をいただきたいと思いますと思っております。

# 目次

1. 保護者・教職員・児童との意見交換について

2. 審議会での意見について

3. 今後の清和台地区の方向性について

4. 今後のスケジュールについて

## 川西養護学校保護者の意見

【実施日】 ほごしゃサロン 2月10日(火) 10:00~11:00

【参加人数】 5名(小学部3名 中学部2名)


【実施日】 2月17日(火)~3月13日(金)

※保護者個人懇談後に個別に実施

【実施人数】 小学部11名


# 場所について

- ①清和台は猪名川町からも通いやすい場所で、とても良いところだと思う。
- ②別の地域に移るとなると、一から住民の声を聞くところから始める必要があり、スクールバスや送迎車の通行について理解してもらっている清和台が良いと考える。
- ③川西には重度の子どもが通える放課後等デイサービスの数が少ない。学校の場所が変わることで現在通っている事業所に通えなくなる可能性もあるため、学校の場所は変わらない方が良い。
- ④放課後等デイサービスや自宅からの送迎を考えると南部にある方が嬉しいが、現実的には難しいだろうとも理解している。
- ⑤自家用車を持っていない保護者にとっては公共交通機関が通っている場所が良い。
- ⑥仮設で一時的に不便になることは仕方ないと理解している。しかし、我が子は特に体温調節が自分でできないので、夏や冬の空調機能などは、仮設の場合でもしっかり確保してほしい。
- ⑦仮設は建てずに、統合で空いた小学校の敷地に養護学校を新設し、一度の移動で済む形が理想だと思う。環境の変化に敏感な子どもが多いので、負担を減らす工夫ができれば良いと思う。

- 
1. 清和台は川西と猪名川の間地点に位置しており、場所として適している。
  2. スクールバスや送迎車の通行について地域の理解が得られている清和台が望ましい。
  3. 仮設校舎は、子どもに負担がかからないよう、安全に過ごせる環境は確保してほしい。

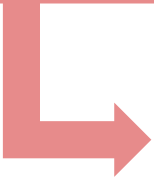
# 今後の教育環境について

- ① 普段から接することで障がいについて理解してもらえると嬉しい。地域全体で理解が深まることを望んでいる。障がいのある子が「いて当たり前」の状態になると良い。
- ② C案であれば交流が増え、学校が活発で明るい雰囲気になると感じる。今も、地域の学校と交流した際には、子どもが楽しそうにしており、刺激を受けている。
- ③ 今よりもいろいろな先生に出会える点も良いと感じる。小・中学校の先生たちにも川養を知ってもらえる。また、同学年で知り合える保護者も増えて良いと思う。
- ④ C案の場合は、川養の敷地もつなげて考えられるため、グラウンドも使用できそう。ぶつかったりすると危険なため配慮は必要だが、広く活動できる場所があることはありがたい。
- ⑤ 小・中学校との交流においては、先生方には子どもの状況をよく理解し、子どもが嫌な思いをしないように配慮して交流してほしい。
- ⑥ 交流は、あまり望んでいないため、交流したい子だけ参加すれば良い。
- ⑦ 感染症に弱い子もいるため、全員が同じように交流を増やすのは難しいのではないか。子どもも先生も行き来が増えると感染リスクが高まる可能性がある。

- 
1. 日常的に接する機会を増やすことで、障がいに対する理解がより深まる。
  2. C案であれば、児童間の交流が増え、先生や保護者との新たな出会いも期待できる。
  3. 交流は、児童一人ひとりの状況や特性を十分に配慮しながら進める必要がある。

# 建物について

- ①早急に改善してほしい部分も多い。今の環境を整備しつつ、新しい学校について考えてほしい。
- ②校舎については医療的ケアを必要とする児童生徒が通うことを前提に、**バリアフリーであることに加え、川養として独立した生活エリアを確保してほしい。**
- ③スクールバスや放課後等デイサービスの車両が複数台通行することになり、**小中学校の登下校の児童生徒と動線が重なり危険である。出入口は別々にし、安全を確保してほしい。**
- ④仮にC案のように校舎を一緒にして利用する場合でも、**川養が目立たない場所へ追いやられる形はしたくない。自然に混ざり合い、無理なく交流できる環境になってくれるとうれしい。**小学校のように、明るく開放的な場所にあるのが理想である。
- ⑤駐車場は広く整備してほしい。風雨を防げる乗降場所の確保や、福祉車両が十分に駐車できるスペースが必要。特に遠方から来る保護者にとっては、現状では駐車する場所がないため改善してほしい。
- ⑥他市の特別支援学校で良い設備があればぜひ取り入れてほしい。

- 
1. 感染症や医療的ケアが必要な児童生徒がいるため、ある程度独立した生活エリアを設けることが必要。
  2. 安全性確保のため、出入口を分けるなど、動線の工夫が必要。
  3. 駐車場を広く整備してほしい。また、最新の設備があれば、取り入れてほしい。

# 川西養護学校教職員の意見

【実施日】 2月3日 15:45~16:15

【参加人数】 28名


# 建物、場所について

## 建物について

- ①床がコンクリートの上にカーペット敷きで寒い。密封性もないため、体温調整が難しい子どもにとって辛い。最新の設備ではないため、安全面でも不安がある。
- ②現在、移動手段はエレベーターと階段のみであるため、2階で授業を行っている際にエレベーターが故障した場合の避難経路が心配。
- ③現状では学校にバスを常駐させるスペースがなく、登下校時に付きそう支援員の負担が大きい。バスが常駐できる広さの駐車場が必要である。
- ④医療的ケアが必要な子どもが多いため、他の小学校と同じフロアで生活することは難しい。感染症のリスクを考慮し、建物やフロアを分けるべきである。

## 場所について

- ①南部は猪名川の子どもにとって遠く、通うのが難しいと思う。猪名川の子どもが1時間以上バスに乗る状況は厳しいと思う。
- ②こどもたちの社会体験が少ない現状がある。歩いてトナリエ（商業施設）に行っているが、買い物体験できる施設が近くにあると学習面で良いと感じる。

- 
1. 子どもたちが安全に過ごせるような設備が整った施設にしてほしい。
  2. 南部は猪名川の子どものことを考えると難しいため、課題もあるが清和台が良い。


# 今後の清和台地区の教育環境について

## C案の教育環境について

- ① C案のように日常的に一緒にいることで、小学生の頃から自然に互いを理解し、偏見を持たずに育つ環境がつけられると思う。共有スペースが設けられていると、さらに交流が深まると感じる。
- ② 小・中学校との交流は少なく、年に1回程度しかないため、交流できる環境が望ましい。
- ③ C案の場合、医療的ケアが必要な子や車椅子を使用している子がいるので、ぶつかると危険である。ただ、その点についての運用は今後検討すればよい。
- ④ 交流をどこまで求めるかによって、校舎のつくりも変わる。
- ⑤ 新設する際の仮設の場所が課題である。どこかの学校をそのまま使用することは難しい。

※小学校と特別支援学校が一緒になっている学校に勤務していた方の意見

- ① 通常の学級に支援学校の子の時間割が貼ってあり、朝の会も一緒にしていた。通常の学級の一員として生活できていたので、とても良かった。
- ② 自身の経験では、教職員間で困ったり負担が大きくなったりすることは特になかった。

- 
1. 日常的に交流できる環境になるのは良い。
  2. 校舎の建て方や交流の方法については、安全が確保できるように検討が必要。

## 清和台地区保護者の意見

# 小学校保護者意見結果 まとめ

## 清和台小学校

実施日 2月5日(木) 授業参観、学級懇談後に実施  
意見交換できた人数 70名(家庭数140) 回答率50%

## 清和台南小学校

実施日 2月4日(水)、19日(木)、20日(金) 授業参観、学級懇談後に実施  
意見交換できた人数 73名(家庭数141) 回答率52%

## アンケート(未就学含む)

実施日 2月3日(火) ~2月26日(木)  
回答数 44

### 保護者意見の傾向

- ・少子化の進行が予測される中で、B案やC案を選択し、より魅力的で良い学校づくりを目指してほしいという意見が多く見られた。
- ・単学級の状況を解消するために、速やかに学校の統合を進めてほしいという意見も一定数見受けられた。

# 未就学保護者意見結果 まとめ

## 意見交換会

実施日 3月1日(日) 10:00~11:00  
参加人数 11名 清和台公民館

## 新1年生保護者

入学説明会にて、今後の方向性を説明（小学校在学中に統合する可能性がある旨を説明）  
実施日 3月6日(金)  
参加人数 清和台小学校 25名  
清和台南小学校 23名

## 保護者意見の傾向

- ・小学生の保護者と同様に、B案やC案を望む意見が多かった。
- ・入学説明会で話を聞いた新1年生の保護者からは、単学級に対する不安があるため、統合を進めるならなるべく早く実施してほしいという声があった。
- ・市として、子どもを増やす施策を実施してほしいとの意見もあった。

# A案について

## 良い点

- ①とにかく早く統合してほしい。単学級を早く解消してほしい。前回の統廃合の議論から何年も時間が経っており、これ以上は待てない。子どもにとって大切な時期なのでスピード感を持って取り組んでほしい。
- ②小学校と中学校で環境を変えた方がメリハリがつくので、小学校だけの統合が良い。
- ③小学生だけの方が、子どもがのびのびと学校生活が送れると思う。
- ④初期費用が最も少ないものを選ぶべき。浮いたお金をスクールバスなどに投資してほしい。

## 懸念事項

- ①子どもが今後も減っていくのであれば、また単学級になって同じ状況になってしまうのではないか。
- ②普通の小学校になるだけ。どうせなら、子どもにとって魅力的な学校を作してほしい。
- ③どちらかの学校を使うとなると、通学距離で不公平感が残る。

# B案について

## 良い点

- ① 中学校と連携できることは魅力的に感じる。中学校に早く慣れることができそう。
- ② 将来を見て、子どもたちにとって良い学校を作してほしい。
- ③ 今後も人数が少なくなるのであれば、小中一貫校にすれば良い。
- ④ 中学生に引っ張ってもらえるような学校にしてほしい。中学生も小学生と一緒にになれば、責任感がでて良いのではないか。
- ⑤ 運動会などの行事も、小学校と中学校で一緒にできたら盛り上がりそう。

## 懸念事項

- ① 中学生の悪い影響を受けるのではないかと心配。
- ② 小学校と中学校で環境が変わらないことは良くないのではないか。
- ③ 小1と中3では、年齢が離れすぎていて、体格差も大きいため心配している。建物としての設備や遊具なども小学生に合ったものにできるのか心配。
- ④ 中学生と合同で使用するとグラウンドが狭くなり、のびのび遊べないのではないかと心配。
- ⑤ 中学生も一緒になると、人数が多くなりすぎるのではないか。
- ⑥ 給食が自校式でなくなってしまうのではないかと心配。

# C案について

## 良い点

- ①障がいのある子と小さいうちから関わることで、お互いを理解でき、偏見もなくなり、とても良いと思う。
- ②どうせ統合するなら、みんな一緒に生活できる環境が良い。
- ③多様性を学べる。いろいろな立場の人と出会って学べる環境の方が良い。
- ④話題性があるので、清和台のまちづくりのためにも良いのではないかな。

## 懸念事項

- ①川養の子にぶつかったり、感染症をうつしてしまったりと、危険なことが起こらないか心配。
- ②時程や行事がそれぞれの学校で違うため、中学校のテスト週間や受験前など、うるさくならないか心配。
- ③川西養護学校の保護者や先生がどのように思うかが大切だと思う。
- ④C案のイメージがわからないため、何が良いのかわからない。

# その他

## 通学面

- ①通学支援(スクールバス)があるなら、どの案になっても良い。
- ②どの案でも、学校が遠くなるのであれば、低学年の登校が心配。
- ③大きな道路を渡らせるのが心配。

## 跡地

- ①跡地活用が一番気になる。ほったらかしになると、まちの雰囲気が悪くなると思うので不安。
- ②跡地は子どもたちが活用できる公園にしてほしい。子どもたちが遊べる場所がなくてかわいそう。地域の方の意見を聞くのも大切だが、子どもたちにとって良いまちにしてほしい。

## その他

- ①残り1年(6年生)で学校が変わるのは辛いと思う。
- ②統合すると決まったなら、体操服など、統一するものは早めに統一してはどうか。

# 清和台地区 児童の意見

# 授業の様子

## 清和台小学校

授業日 2月2日(月)【4, 6年】  
3月5日(木)【5年】

## 清和台南小学校

授業日 1月26日(月)【4, 5, 6年】

### 授業の流れ

- ①12月の地域説明会で説明した「2つの小学校がともに学ぶ環境をめざす」という方針を伝える。
- ②2つの小学校が仲良くなるために、どのような交流をしたら良いか考える。
- ③ふりかえり



# 授業の感想

## 仲良くなるためのアイデア

- ①一緒に遊ぶ(鬼ごっこ、ドッジボール、クイズ大会、サッカー、学校に一泊 など)
- ②一緒に授業をする(調理実習、工作、体育、クラブ活動、算数教え合い)
- ③校外学習と一緒に行く、一緒に弁当・給食を食べる
- ④清小祭り、清南小祭りに招待する。
- ⑤クリーンアップ作戦など、地域も参加する行事を一緒にやる。

## 授業の感想

- ①清和台小と清和台南小がこれからどうしていくのかをちゃんと聞いてよかった。
- ②学校が統合することで課題もあることがわかった。いろんな課題を乗り越えていい学校ができる  
といいなと思った。
- ③初めに聞いた時は不安に思ったけど、「どんなことをしたら楽しいか」を考えるとアイデアがたくさん出てきて、とても楽しみになった。
- ④みんなで話し合ったら、ちょっとは安心できた。不安なこともあったけど、少しおもしろそう・わくわくするなと思った。
- ⑤3つの案を聞いたけど、まだちょっと心配もある。

# 目次

1. 保護者・教職員・児童との意見交換について

2. 審議会での意見について

3. 今後の清和台地区の方向性について

4. 今後のスケジュールについて

# 審議会での意見

## 小中一貫教育について

- ①小・中が一緒になって挨拶運動をするなど、小学校だけ、中学校だけの取り組みよりも幅のある活動ができる。1つの校舎の中での交流の幅が広がることは、ポジティブに感じる。
- ②中学校で気持ちを切り替えたいと思っている子どもに関しては、進級後も同じ校舎で過ごすことになるため、少し工夫が必要だと感じる。

## 義務教育学校に勤務されていた委員からの懸念事項に対する意見

- ③中学生の悪い影響を受けないかという意見があったが、小学生と中学生が一緒に生活すると、中学生はみっともないことができないという思いで、小さい子に優しく接するようになると感じた。登校時には、小学1年生と中学3年生が同じ校門から仲良く入ってくる微笑ましい光景を見ていた。
- ④けじめがなくなるという意見について、やり方はあると思う。例えば式典は、6年生が卒業式ではなく、前期課程の修了式という形をとっていた。7年生（中学生）は、進級式を行うことで、一定の切り替えができていた。また、7年生から制服着用としていたため、進級後も同じ校舎ではあるが、制服を着て学ぶことで、子どもも教職員も変化を感じていた。

## C案について

- ①C案の同じ場所で生活するというのは、子どもたちの人権感覚を養うのに、とてもすてきなことだと思う。また、子どもの相互理解や尊重し合う心が育っていくのは非常に大きなメリットだと感じている。ただ、肢体不自由の子どもが他の児童生徒と一緒に過ごすことについては、教員の専門性をより高めていく必要もあり、施設整備に力を入れないといけない部分もあると感じている。
- ②障がいがある方とない方が、一緒に生活して学んでいく環境をつくるというのは、社会の中ではすごく自然で当たり前のことなので、学校もそういう自然な形がいいと思う。
- ③子どもを通じて保護者同士がつながるということが、いろいろな社会生活をする上で、大人も豊かになることにつながる。小学校の統合、さらに中学校、特別支援学校も一緒になれば、大人同士のつながりも4倍増になると考えると、それは保護者や地域にとってもすごくメリットがある。関係者が増えるということは、大人もいろいろ触れ合えるきっかけができるので、パパ友やママ友のつながりも一気に広がり、それが地域、自治会運営などにもプラスになっていくと考える。

# 審議会での意見

## 議論の進め方について

- ①数年前には地域から抵抗感もあったと聞いている。単学級が長く続いている状況もあるかもしれないが、早く進めてほしいという意見の保護者も多い。丁寧に進めていることが、前向きな意見に反映されていると感じた。
- ②川西養護学校の保護者や教職員にも案を示し、意見を収集している。関係者から広く意見を募っており、非常に丁寧な進め方をしていると思う。
- ③教育環境を中心に検討して、それが実現できる場所はどこなのかを考えるという順序が大切である。

## その他

- ①子どもの意見を聞いていることが非常に面白い。学習のテーマとして、自分たちが住んでいる地域の今後のことを、我が事に引きつけて学習にしていくことは、とても有意義なことだと思う。今後、中学校や特別支援学校の子どもたちがどのように思っているか聞いてみるのも良い。
- ②地域には、子どもが成人し、自分には関係ないことと思われる方も多いと思う。子どもも大人も「新しい学びの場ができる」と、関心を持ってもらえるような学校づくりをすることも大切。

# 目次

1. 保護者・教職員・児童との意見交換について

2. 審議会での意見について

3. 今後の清和台地区の方向性について

4. 今後のスケジュールについて

# 今後の清和台地区の方向性について

## 意見収集の結果

- A 小学校のみの基本的な教育環境
- B 中学校とのより密接な連携が可能な教育環境
- C 中学校及び特別支援学校との多様な学びが可能な教育環境

### 川西養護学校保護者の意見

学校の場所としては、川西・猪名川の中間地点である清和台地区が良いという声が多く、日常的に交流する機会を増やすことができるC案には、肯定的な意見が多かった。

### 清和台地区保護者の意見

少子化が進む状況の中で、いろいろな立場の人と出会い、学べる環境であるC案を選び、子どもたちにとって魅力的で良い学校をつくってほしいという意見が多かった。

今後はC案を中心に検討していき、保護者や地域に説明を行い、理解を得ていく。

### その際の懸念事項

- ・早く統合してほしいという保護者の意見にどう対応するか。

# 今後の清和台地区の方向性について

## 教育委員会の考え

1. 学校教育においては、子どもたちがそこに集う人々を含め、多様な価値観に触れ、互いを認め合い、協力し合う経験を通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばす教育環境をつくることが重要である。このような教育環境を実現するためには、ひとつの学校でともに学ぶ環境が望ましい。

A 小学校のみの基本的な教育環境

B 中学校とのより密接な連携が可能な教育環境

C 中学校及び特別支援学校との多様な学びが可能な教育環境

教育委員会としては、多様な価値観に触れることのできる教育環境をつくることが重要と考えているため、今後の教育環境としては、C案が望ましいと考えている。

# 今後の清和台地区の方向性について

C 中学校及び特別支援学校との多様な学びが可能な教育環境

C案を検討するにあたっての前提条件

①運営場所

②開校時期

③学校の形態

# 今後の清和台地区の方向性について

## ①運営場所について

### 候補地について

小学校と中学校、川西養護学校が同じ敷地内に併設される計画のため、広い敷地が必要となる。また、川西養護学校の校舎が老朽化しているため、解体を行い、新校舎を建設する。

### ①清和台中学校と川西養護学校を合わせた敷地

1番広い敷地がある。川西養護学校の敷地を含めると、現在の清和台中学校のグラウンドの広さを保ったまま校舎を新設することができる。

### ②清和台小学校

運動場に校舎を新設すると、運動場が狭くなる。

### ③清和台南小学校

テニスコートに校舎を新設した場合でも、運動場の広さが中学校運動場の基準より狭い。

### ④清和台中央公園

学校用地としては、面積が足りない。

# 今後の清和台地区の方向性について

清和台中+川西養護



28,978<sup>m</sup><sup>2</sup>

清和台南小 20,385<sup>m</sup><sup>2</sup>



清和台小 20,009<sup>m</sup><sup>2</sup>



※同じ倍率で表示しています





清和台中央公園



11,009<sup>m</sup><sup>2</sup>

# 今後の清和台地区の方向性について

## ②開校時期について

R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
方向性決定	新しい学校の コンセプト作成 	新校舎設計	 川西養護学校 仮設へ移動 	工事期間 (3年) 		新学校開校

### 構成メンバー

子ども

地域

保護者

教職員

※令和9年度は、子ども、地域、保護者、教職員の意見を集めながら、どのような学校にしたいか、新しい学校のコンセプトを検討する委員会を立ち上げ、1年間かけて検討していく。

# 今後の清和台地区の方向性について

## ③学校の形態について

小中一貫校もしくは義務教育学校とし、川西養護学校を併設する。

清和台中学校と新清和台小(仮称)に加え、現在の運営場所でのけやき坂小学校を含む3校で、施設分離型の小中一貫校または義務教育学校として運営する。川西養護学校は、現在の体制を維持し、単独で運営を行いながら、交流の場を設け、ともに学びあう環境をつくる。

### 小中一貫教育

小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員がめざす子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育をめざす教育

#### 義務教育学校

・新たな学校種(一つの学校)  
⇒1人の校長、  
1つの教職員組織

修業年限:9年  
(前期課程6年+後期課程3年)

#### 小中一貫型小学校・中学校

・組織上独立した小学校及び中学校が  
一貫した教育を施す形態  
⇒それぞれの学校に校長、教職員組織

小学校 6年  
中学校 3年

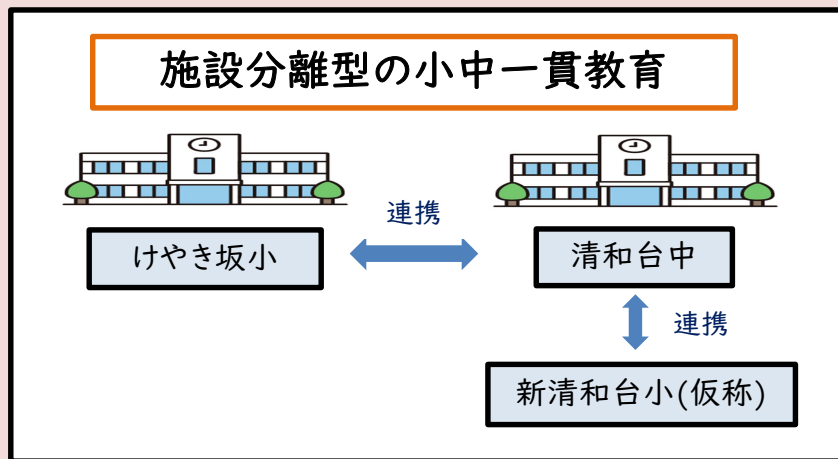
どちらにも、施設一体型・施設隣接型・施設分離型の施設の形態がある。

# 今後の清和台地区の方向性について

## ☆現状、3校で実施する小中一貫教育について

### 小中一貫教育を施設分離型で実施

清和台中学校の敷地内に、新たに新清和台小学校(仮称)が設置され、同一敷地内で運営される。これに加えて、現在の運営場所でのけやき坂小学校を含め、3校で小中一貫教育を施設分離型で実施する。



### 《施設分離型の小中一貫教育》

- ☆3校で小中一貫教育を実施するため、9年間を通じた教育課程を編成する。
- ☆小学校と中学校の交流、中学校教員の乗り入れ授業なども可能な範囲で実施する。

# 今後の清和台地区の方向性について

C 中学校及び特別支援学校との多様な学びが可能な教育環境

## C案を検討するにあたっての前提条件

以下の条件で、検討を進めていく。

### ①運営場所

- ・第1候補地を、清和台中学校と川西養護学校を合わせた敷地で検討する。

### ②開校時期

- ・開校まで6年程度必要なため、令和14年度開校で検討する。

### ③学校の形態

- ・小中一貫校もしくは義務教育学校とし、川西養護学校を併設する。

# 今後の清和台地区の方向性について

## C案で検討を進める際の今後の協議事項

### 1. 開校まで時間を要することについて

開校までに6年を要すると、現在の小学1年生は、卒業まで単学級のままということになる。単学級に対して不安を感じる保護者も多くいたため、先に小学校2校を統合することも含めて解決策を検討していく。

### 2. 通学支援について

通学環境が変わり、負担が大きくなる児童に対し、スクールバスでの通学支援を実施する。通学の負担が大きくなる児童の数や地域について、現状把握を進める。

### 3. 川西養護学校の仮設校舎について

川西養護学校の校舎の建て替えが必要になるため、建て替えの間の仮設校舎が必要。川西養護学校の児童生徒が安全に学校生活を送れる場所を検討していく。

# 今後の清和台地区の方向性について

## 開校までの期間について

現時点 ←-----		2校が現状のまま学校運営を続ける期間				-----→	新学校開校
R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	
0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小1	小1
1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小2
2歳	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3	小3
3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3	小4	小4
4歳	5歳	小1	小2	小3	小4	小5	小5
5歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小6
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中1
小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中2
小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	中3
小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高1
小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高2
小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	高3

# 目次

1. 保護者・教職員・児童との意見交換について

2. 審議会での意見について

3. 今後の清和台地区の方向性について

4. 今後のスケジュールについて

# 今後のスケジュール(イメージ図)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
懇話会		第10回	第11回	第12回							
意見収集	保護者・子ども 対象 意見交換会							開校準備委員会 スタート			
説明会	第3回					第4回					

検討した協議事項を含めて、新たな清和台地域の学校の具体的なあり方を提示します。